

議会活性化調査特別委員会中間報告



当特別委員会は、市民にわかりやすい議会、開かれた議会を目指し、現在まで18回の委員会を開催し調査研究している。

議員報酬については、削減を求める意見や議員活動に必要な報酬の保障を求める意見が出され、一旦、現状維持で合意としたが、再度協議し、議長室の調整により、2%の引き下げを行うこととした。

議員定数については、前回の改選時に4名削減した影響の検証が必要、人口比例により増減させるなど意見が分かれ、現時点では現状維持との意見が多く出されている。議会運営については、一問一答方式や執行部への反問権の付与を試行的に導入した。対面式議会のための議場改修は現時点では行わないこととした。議事録に賛否の議員数を記載する件は、広報活動の一環として議会広報紙とホームページに議員ごとの賛否を公開する。自由討議による合意形成の場として、議員会議を現在まで2回開催し、また議員研修会も2回開催している。本会議の開催方法については、現状とおり年4回の開催とし、夜間休日の開催は、必要性や事案に応じて検討していく。

議会のあり方では、議会の活動報告と市民との意見交換をする議会報告会を4月20日に開催し、また市民との懇談会などを積極的に開催していく。

当委員会で決定したことは、順次、導入実施をしているが、それらを継続実施していく中で、議会基本条例や政治倫理条例のあり方や策定の必要性なども含め、今後わかりやすく開かれた議会を目指し、引き続き調査研究をしていく。

3月定例会で同意した人事案件

3月定例会では、左記の人事案件が提案され、同意することに決定しました。
教育委員会委員の任命について
津山市総務部2835番地 真木 源(60歳)
(年齢は議決日(3月19日)時点です。)

3月定例会に提出された請願の審議結果

- 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を支持し政府に対し、意見書の提出を求める請願書 ↓ 不採択
- 「グラウンド・ゴルフ場」設置に関する請願書 ↓ 採択

表紙写真について

今回の撮影は、阿波幼稚園、加茂幼稚園、公郷保育所におじゃましました。

阿波幼稚園に通園している園児(児童)は、7人でした。教育目標は「心身ともにたくましく、心の豊かな子どもを育てる」で「健康、安全な生活をするために、基本的な習慣や態度を育てる」を指導の重点にされていました。(阿波幼稚園は平成25年3月末で休園となりました。)

加茂幼稚園に通園している園児(児童)は、27人です。教育目標は、「明るく元気な子ども」「自分で考えて行動できるたくましい子ども」で、「幼児の心を動かす様々な体験を通して、人とかかわる力を育てる」を指導の重点にされています。

公郷保育所に通園している園児(児童)は、23人です。保育理念は「すべての子どもが健康な心と身体を営み、豊かな情操と賢さを身につけ、命と自然を尊び、自身を持って他者との信頼のなかに生きることをめざす」で、「自然や人との関わりを通して、心身ともに健やかな子どもを育てる」を保育目標にされています。



今回の市議会だより66号は、議会改革の取り組みのひとつとして、津山市議会初の議会の広報・広聴両面の機能を果たすとされる議会報告会の様子を追加で取り上げております。

このたびは、第1回目であり反省点は多々ありましたが、市民から選ばれた人たちの集合体の議会と市民の皆様を繋ぐ話し合いの場として、まず一歩を踏み出せたのではないかと思います。この会を開催し続けることで、市民と議会が共に信頼関係を築き、私たちの津山のために真剣に色々な事を議論していく議会報告会のあり方を更に模索していく必要性を強く感じました。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(慎)

土地開発公社解散質疑に続き、代表質問、それに関連質問、それから個人質問、いつからこんなになったんかの、もつと中身のある質問を頼みますよ。今回傍聴の(康)

政府、日銀一体となった金融緩和政策で、田安、株高が進み輸出企業を中心に業績が回復しつつあり、国民にも景気回復の希望が持てる状況です。景気は(忍)からです。(行)

宮地市政の最終年度。「笑顔あふれる、ふるさと津山」具現化の手腕に期待しています。(耕)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ○ 田口慎一郎
- 岡田康弘、黒見節子、竹内靖人
- 野村昌平、原 行則、吉田耕造